

こんにちは

日本共産党市会議員

森田 ゆみ子 です



子どもには笑顔
若者に仕事を
老後には安心を。



2015/11/29

日本共産党京都市会議員団 tel 222-3728 fax 211-2130
市会議員団ホームページ<http://cpgkyoto.jp/>

森田ゆみ子ホームページ<http://morita-yumiko.jp/>

市長 マイナンバーも国言いなり

「番号カード」の申請は任意です。

提出書類に番号を書かなくても大丈夫

戦争法を強行し、民主主義を踏みにじる安倍内閣。原発促進や農業つぶし、社会保障改悪・解体と、悪政の暴走に国民の不安と怒りはつのります。

こうした国の言いなりに市民無視の市政をつづけている市長の姿勢がめだっています。マイナンバー制度についても同様です。

すでに簡易書留で各家庭に届き始めています。受け取られたら、その後は持ち歩かないほうが良いでしょう。なくしたら落としたりしたら悪用されるおそれがあります。

また、番号は他人に言っはけません。

「個人番号カード」の申込み書も同封されていますが、申込みは任意です。「番号カード」はもらわなくても良いのです。今後「番号カードを見せ下さい」といわれても「もらってません」と言えればいいだけです。

また、確定申告書や役所に出す文書などに番号を書く

欄があつて「書いてください」などと言われても、書いても書かなくてもどちらでも良いのです。「書いても書かなくても受理する」と国は言っています。

マイナンバー制度は中止せよ。

マイナンバー制度は住民票のあるねすべての人に12桁の番号を押し付け、国が個人情報を一元的に管理しようとするものです。元々の趣旨は、その人の社会保障給付を納めた税金の範囲に止めようという社会保障否定の発想でした。それが利用目的が拡大され、番号だけでさまざまな納付金の支払状況や利用額などがなんでもわかるようになるというおそれがあります。個人情報が漏れたり、他人に悪用される恐れもあり、ただちに中止すべきです。

庶民の不安と心配をよそに、市長は「利便性向上と公平公正な社会の実現のために導入」などと国と全く同じことを言っています。

憲法市政、子どもは未来！



本田久美子さん駆けめぐる。

～弘法さんは、こくた恵二衆院議員と街頭から訴え。

介護・医療・福祉市政の充実を。きびしい暮らしささえる行政の援助を、市バスの増発、敬老パスの改悪反対、子どもの未来につくす京都市政、戦争法廃止を！市民の声に耳をかさない今の市長と反対に、本田さんは市民のみなさんの思いと願いを、いっしょに実現しましょうと呼びかけています。この人なら京都市の行政の責任をお願いできると、期待がひろがります。

■ 京都市の学校跡地利用問題

～元陶化小跡地で東九条マダンに参加して



元陶化小学校跡地で11月1日に行われた「東九条マダン」の見学に行きました。地域の人

たちが今でもたくさんの行事に使っている場所です。京都市はこうした学校跡地をブライダル施設やホテルなど民間企業に誘致しようとしています。

■ 洛南中学校区ソフトボール大会に参加しました。

11/22(日)朝8時半から洛南中学校のグラウンドで、4つの小学校(吉祥院・祥栄・祥豊・上鳥羽)と洛南中学校のPTA、並びに教職員の親睦ソフトボール大会がありました。そのあと、焼き肉親睦会があり、地域の保護者と教職員が親交を深め、子どもたちの未来のために力を合わせようと100人ほどが集まりました。

